

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年6月29日(2017.6.29)

【公表番号】特表2016-528767(P2016-528767A)

【公表日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-055

【出願番号】特願2016-521470(P2016-521470)

【国際特許分類】

H 04 B 5/02 (2006.01)

H 04 B 1/59 (2006.01)

【F I】

H 04 B 5/02

H 04 B 1/59

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

誘導通信の方法であって、

水晶発振器を使用して低電力発振器(LPO)を較正することと、

近距離場通信(NFC)アンテナに関連する周波数振動を、前記NFCアンテナに接続され、較正された前記LPOを使用してモニタすることと、

基準周波数値からの周波数振動が、周波数偏差閾値よりも大きいことを決定することと、

NFCチップが前記決定に応じてNFCポーリング手順を実行すること、
を備える、方法。

【請求項2】

前記較正は、周期的に実行される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記較正は、前記水晶発振器を使用するサブシステムが駆動される時、実行される、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記較正は、整数のウェークアップ周期につき1度実行され、ここで、前記整数は、1より大きい、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記モニタすることは、連続して実行される、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

発生回数は、持続時間に渡って平均化される、請求項1に記載の方法。

【請求項7】

前記基準周波数は、1つ以上の以前に決定された値に基づいて、適応的に決定される、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

誘導通信のための装置であって、

水晶発振器を使用して低電力発振器(LPO)を較正するための手段と、

近距離場通信（NFC）アンテナに関連する周波数振動を、前記NFCアンテナに接続され、較正された前記LPOを使用してモニタするための手段と、

基準周波数値からの周波数振動が、周波数偏差閾値よりも大きいことを決定するための手段と、

前記決定に応じてNFCボーリング手順を実行するための手段と、
を備える、装置。

【請求項9】

前記較正は、周期的に実行される、請求項8に記載の装置。

【請求項10】

前記較正は、前記水晶発振器を使用するサブシステムが駆動される時、実行される、請求項8に記載の装置。

【請求項11】

前記較正は、整数のウェークアップ周期につき1度実行され、ここで、前記整数は、1より大きい、請求項8に記載の装置。

【請求項12】

前記モニタすることは、連続して実行される、請求項8に記載の装置。

【請求項13】

発生回数は、持続時間に渡って平均化される、請求項8に記載の装置。

【請求項14】

前記基準周波数は、1つ以上の以前に決定された値に基づいて、適応的に決定される、請求項8に記載の装置。

【請求項15】

コンピュータ上で実行されたとき、請求項1から請求項7のうちの一項に記載の方法を実行するための命令を備える、コンピュータプログラム。